

金子三勇士 Miyuji Kaneko, Piano

1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳より単身ハンガリーに留学。祖父の家よりバルトーク音楽小学校に通い、ハンガリーのピアノ教育第一人者チェ・ナジュ・タマーシュネーに師事。

2001年(11歳)飛び級で国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)に入学、エックハルト・ガーボル、ケヴェーハー・ジュンジ、ワグナー・リタの各氏に師事。2006年(16歳)全課程取得とともに日本に帰国。東京音楽大学を首席で卒業、同大学院修了。

2008年バルトーク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。2011年第12回ホテルオーケラ音楽賞を受賞。2012年第22回出光音楽賞を受賞、2012年第4回C.I.V.C.ジョワドヴィーヴル賞を受賞。2013年、平成24年度上毛賞「第10回上毛芸術文化賞 音楽部門」を受賞。

2019年10月公開の映画『蜜蜂と遠雷』にて主人公の一人「マサル」のピアノ演奏を担当、映画サウンドトラックCD「金子三勇士 plays マサル」もリリースされ話題を呼んだ。これまでにゾルタン・コチシュ指揮/ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団、小林研一郎指揮/読売日本交響楽団などと共演。国外では、ハンガリー、アメリカ、フランス、ドイツ、オーストリア、スイス、ギリシャ、ルーマニア、チェコ、ポーランド、カザフスタン、ロシア、中国、ベトナム、マレーシア、タイなどで演奏活動を行なう。

NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に司会者としてレギュラー出演の他、テレビ、ラジオなど多数のメディアに出演。近年はライフワークの一環としてアウトリーチ活動も積極的に行っている。コロナ禍ではオンラインを活用したさまざまな企画を発信。2021年に日本デビュー10周年を迎え、2022年3月にサントリーホールでソロ・リサイタル「原点×挑戦」を開催。同年、ドイツ・グラモフォンより新譜CD「フロイデ」もリリースした。キシマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。

オフィシャルHP <http://miyuji.jp/>



©Seiichi Saito

福岡洸太郎 Kotaro Fukuma, Piano

20歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学、コモ湖国際ピアノアカデミーにて学ぶ。これまでにカーネギーホール、リンカーン・センター、ウィグモア・ホール、ベルリン・コンツェルトハウス、サル・ガヴォー、サントリーホールなどでリサイタルを開催する他、クリーヴランド管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、フィンランド放送交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、トーンキョンストラ管弦楽団、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラと多数共演、50曲以上のピアノ協奏曲を演奏してきた。2016年7月には故ネルソン・フレイレの代役として急遽、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団定期演奏会において、トゥガン・ソヒエフの指揮でブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏し喝采を浴びた。また、フィギュアスケートのステファン・ランビエルなどの一流スケーターとのコラボレーションや、パリにてパリ・オペラ座バレエ団のエトワール、マチュー・ガニオとも共演するなど幅広い活躍を展開。CDは「バッハ・ピアノ・トランスクリプションズ」、「France Romance」、「ベートーヴェン・ソナタアルバム」(ナクソス)など多数録音しており、2023年4月21日にはNAXOS JAPANより19枚目のCD「幻想を求めて - スクリャービン&ラフマニノフ」をリリース。そのほか、珍しいピアノ作品を取り上げる演奏会シリーズ『レア・ピアノミュージック』のプロデュースや、OTTAVA、ぶらあぼweb stationでの番組パーソナリティを務め、自身のYouTubeチャンネルでも、演奏動画、解説動画、ライブ配信などで幅広い世代から注目されている。多彩なレパートリーと表現力、コンセプトチャルナプログラム、また5か国語を操り国内外で活躍中。テレビ朝日系「徹子の部屋」や「題名のない音楽会」、NHK テレビ「クラシック音楽館」や「クラシック倶楽部」などメディア出演も多数。第39回日本ショパン協会賞受賞。2024年、日本デビュー20周年を迎え、秋に記念ツアーを予定。

公式サイト <https://kotarofukuma.com/>
公式ファンクラブ <https://shimmeringwater.net/>



©Shuga Chiba

ピアノ・ツイルクス 白石光隆、田村緑、中川賢一、デュエットウ かなえ&ゆかり

ツイルクスとはドイツ語でサーカスの意。1台でもホールを圧倒する凄まじいパワーを持つ、ピアノ5台がステージに並ぶ姿は圧巻であり、そのピアノを5人のピアニスト、合計50本の指が激しく躍動し超絶技巧を奏でる姿はサーカスを彷彿とさせる。メンバー全員(一財)地域創造の登録アーティストを長年務め、お互いを知り尽くし、信頼し合う5人のピアニストが織りなす、震撼のスペクタクル、阿吽の呼吸、掛け合い、混じり合う音色は“こんな演奏会ははじめて!”と聴衆を歓喜の渦に巻き込んだ。一条乱れぬ難易度の高い打鍵楽器によるアンサンブルは各界から注目され高い評価を得ている。三重県文化会館にはコロナ禍の2020年9月の公演以来、2024年11月で3度目の登場となる。



©Shouhei Yokoyama

白石光隆 Mitsutaka Shiraiishi

東京藝大及び同大学院を修了後、ジュリアード音楽院留学。学内におけるコンチェルト・コンペティションで優勝し、ジュリアード・オーケストラと共演。ソロ、室内楽、協奏曲等音楽性の高さには定評があり、内外の共演者の信頼も厚い。東京藝大、お茶の水女子大非常勤講師。



©Shuhei NEZU

中川賢一 Ken'ichi Nakagawa

桐朋学園大学音楽学部卒業後、アントワープ音楽院首席修了。1997年ガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。P.グラス「浜辺のアインシュタイン」で第77回文化庁芸術祭大賞受賞。アンサンブル・ノマドメンバー。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。
<http://www.nakagawakenichi.jp>



©Shigeto Imura

田村 緑 Midori Tamura

英国ギルドホール音楽院卒業、シティ大学院修士課程修了。ICベートーヴェン・ピアノコンクール第1位。その躍動感に満ち、情感溢れる演奏スタイルと、独創的プログラムが目目され、全国各地でコンサート活動を行う。特に普及の分野では先駆者的存在。
<https://www.tzmz.net>



デュエットウ かなえ&ゆかり Duetwo Kanae&Yukari

英国王立音楽院にてピアノデュオ演奏家資格ディプロマを取得。第4回国際ピアノデュオコンクール特別賞毎日新聞社賞を受賞。第3回「Music&Earth 国際器楽コンクール」ピアノアンサンブル部門で第1位受賞。高松市観光大使。
<http://www.duetwo.com>